

# 96億1000万円 → 96億円

## 平成24年度一般会計予算の修正案

提案議員：近藤・諸遊・岩井・西尾・大森・米本・竹口

### 【主な提案内容】

大山恵みの里公社の事業方針に不可解な部分があるため、公益事業と農産加工施設の補助金を計1000万円減ずる。

### 質疑

## 補助の タイミング

#### 【杉谷議員】

大山恵みの里公社の方針は、公社に任せたらよい。台湾への海外戦略も公社内部の話。最初は補助金を認めて、理事会の話聞いていってもよい。

#### 【近藤議員】

大山恵みの里づくり計画にもとづいて、公社は事業を推進する。そのため補助金を支出する。海外での販路拡大は疑問だ。必要性がはっきりしてから予算を追加してもよい。

### 討論

#### 【原案に賛成

…鹿島議員】

公社の運営・事業に関しては、副理事長として出ている議長を通じて、議会の意思を反映させればよい。過去のことを追及するのではなく、まずこの予算をつけて、議会として検証しながら、今後よい方向にもっていくべきだ。補助金の検証をしっかりとやるならば、本予算はこれだけよい。

#### 【修正案に賛成

…西尾議員】

議会に大山恵みの里構想調査特別委員会が設置された。この調査結果によつては、公社の方向性が変わる可能性もある。専務理事が3月末で退職するなど、問題が出てきた。専務理事は、台湾などへの販路拡大で、ほとんどの時間を費やしたが、商品は町の産品がない。売れる物ができてから予算を付けられ

ばよい。

修正案は減額するだけだ。町民・議員とも納得できる予算にすべきだ。

#### 【原案に賛成

…西山議員】

大山恵みの里計画の具現化をする組織の一つが公社だ。雇用創出をし、町の活性化をはかることが、合併後の一体感になる。1、2年ですぐに利益が上がるものではない。補助金は、公社事業推進への支援だ。議会の責任も重い。予算・決算を可決することが大事だ。

大山恵みの里構想を尊重し、活力ある町をつくるうではないか。

#### 【修正案に賛成

…諸遊議員】

公社は自立が必要だ。公社の計画を見直すために、今後の予算が必要なら、理事会・評議員会でしっかり練ってもらおう。その提案を受

けて、議会は検証し、必要ならば補正予算を通せばよい。

議会はチェック機能が必要。原案通り可決すれば、議会は町民から反発を受ける。

#### 【修正案に賛成

…竹口議員】

新年度、公社の体制が新しくなる。専務理事が3月末で退職し、新たに役場職員を配置する。要望された補助金をそのまま認めるのは疑問がある。公社が新体制になる前から、見込み予算を付けるのは、議会としてどうかという問題だ。議会のチェック機能が働いてないから、住民から議会はいらぬという声が出てくるのだ。具体的に行動することが議会の改革だ。

議会のチェック機能をはたすためにも、減額修正案を通したい。

#### 原案賛成

島岡 足池  
鹿岡 足池  
西山 椎木  
山本 小原  
西尾 吉原  
野口 杉谷

#### 修正案賛成

岩井 近藤  
大森 竹口  
諸遊 西尾  
野口 米本

# 原案 可決